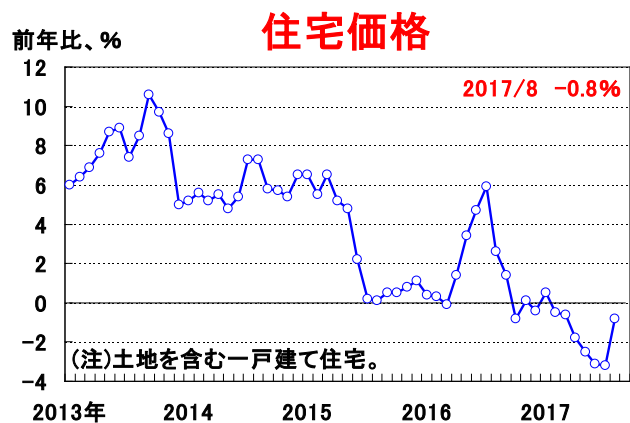
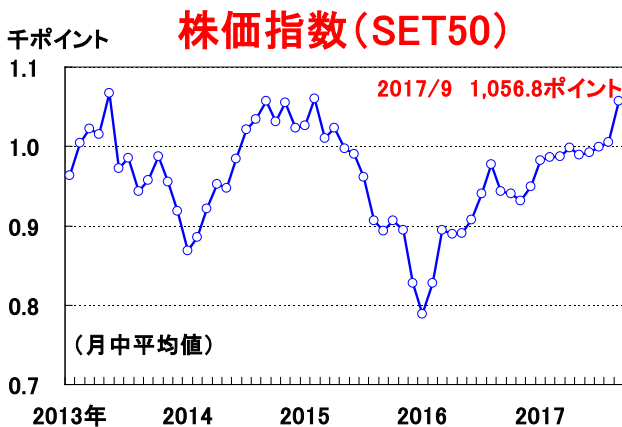
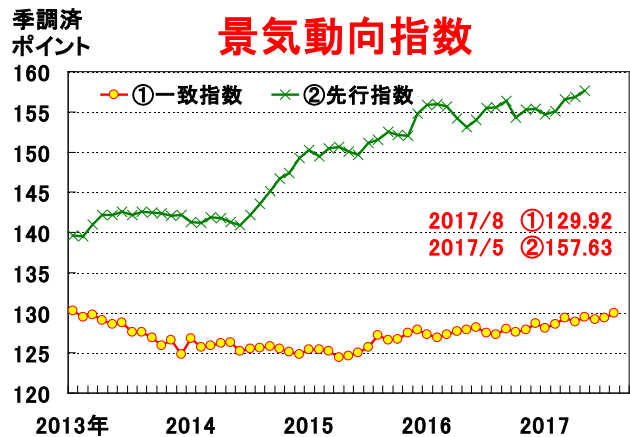
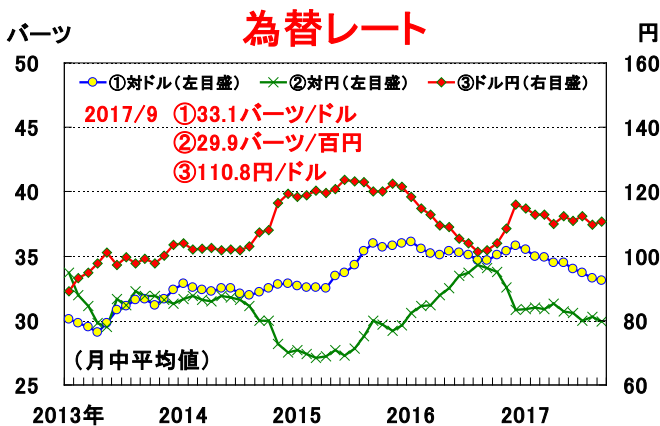
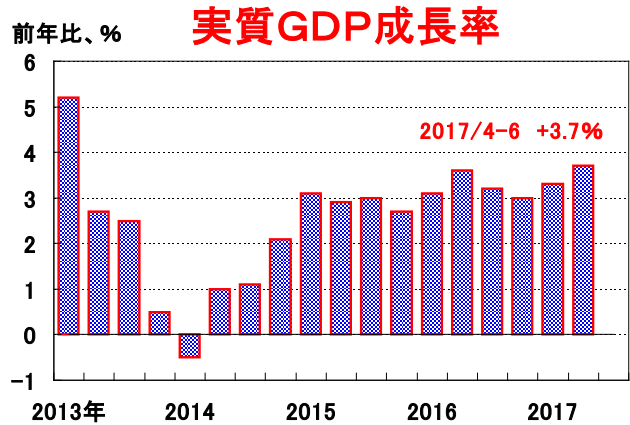
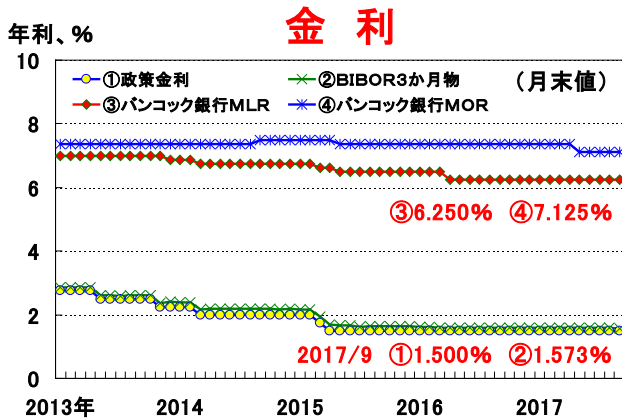


グラフで見るタイ経済 2017年10月号(No. 100)

タイ景気は着実に回復している。8月の経済指標をみると、個人消費指数は前月比+0.6%と、外国人観光客の消費回復やサービス消費の堅調な増加もあり、4か月連続で上昇している。企業部門では、輸出が前年比+13.2%と約4年半ぶりの大幅な増加となり、また工業生産指数も前月比+2.7%と2か月続けて上昇した。主力産業の自動車の生産台数も前年比+13.5%と新車輸出の持ち直しなどにより、14か月ぶりの高い伸びとなった。こうしたなか、民間投資指数は前月比+0.1%と、わずかながら2か月連続で上昇している。



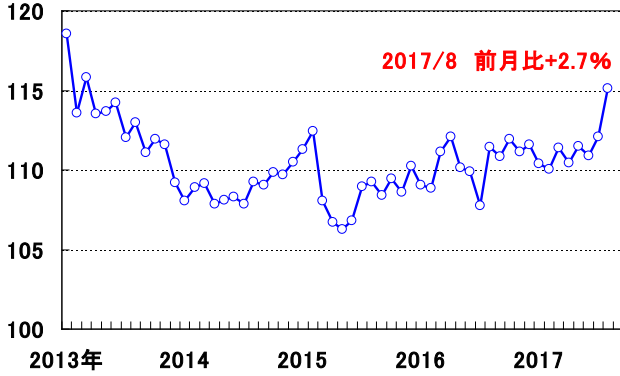
【今月のトピック:タイを訪れる外国人旅行者数が好調に推移】 8月にタイを訪れた外国人旅行者数は313万人、前年比8.7%増となった。8月はタイ観光の閑散期であるにもかかわらず、今年は300万人を突破し、8月としては過去最高を達成した。8月の外国人旅行者による支出額は1,630億パーツ(約5,500億円)、前年比11.7%増となった。2017年に入り対ドルパーツ相場は上昇傾向にある。タイの中央銀行は、他地域の通貨も対ドルで上昇している場合が多いため、パーツ高による外国人観光への影響は生じていないと分析している。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

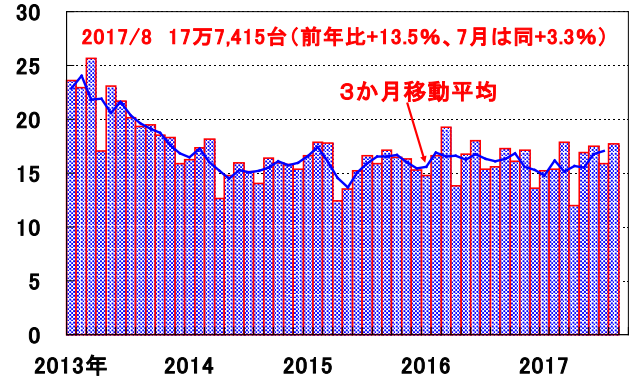
季調済
2000年=100

工業生産指数

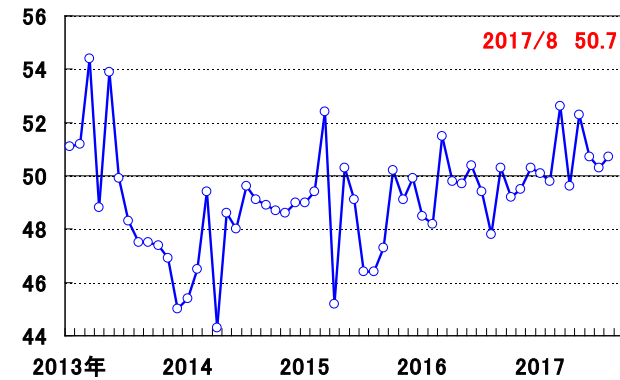


万台

自動車生産台数

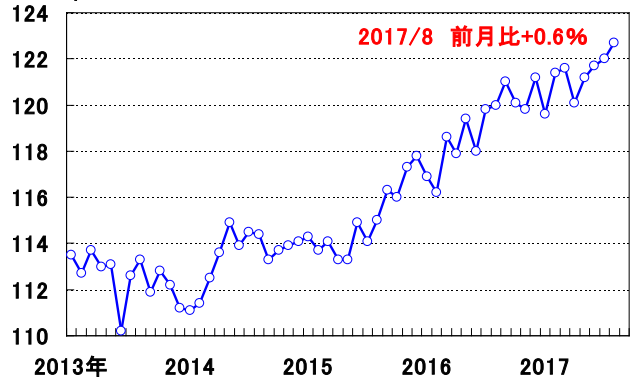


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



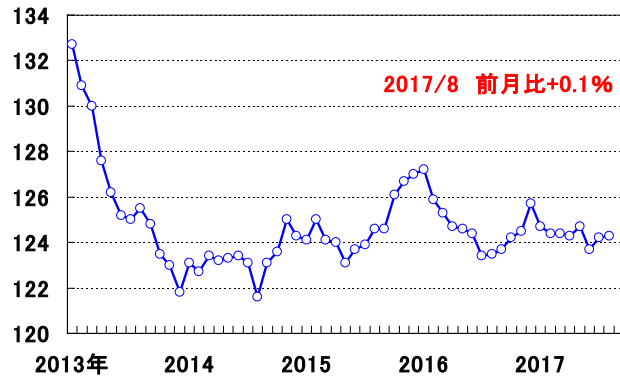
季調済
2000年=100

個人消費指数

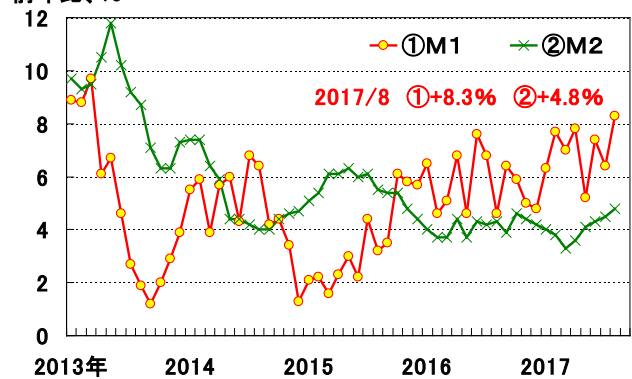


季調済
2010年=100

民間投資指数

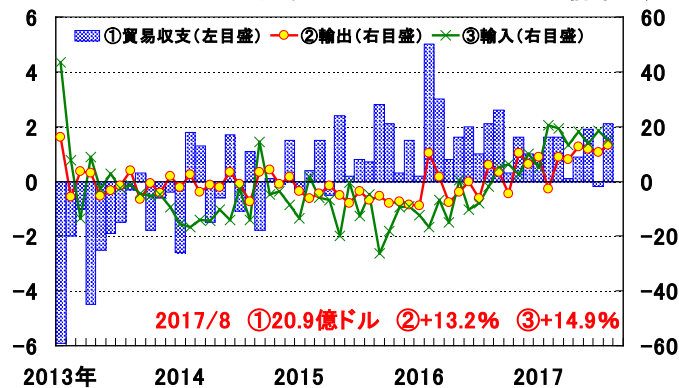


前年比、% マネーサプライ

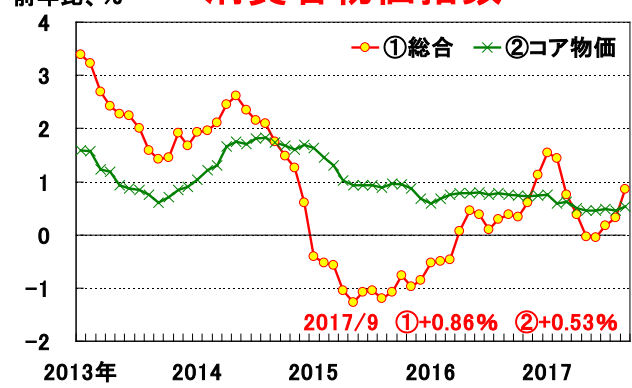


10億ドル

貿易収支



前年比、% 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。